

**県内イベント情報等の収集・発信に係るコンセプト整理及び実現可能性検討業務
企画提案書作成要領**

広島県が実施する「県内イベント情報等の収集・発信に係るコンセプト整理及び実現可能性検討業務」（以下「本業務」という。）に関し、公募型プロポーザル参加者が企画提案書を作成するに当たって必要な事項を定めるものである。

公募型プロポーザル参加者は、本業務の公告、公募型プロポーザル説明書及び「県内イベント情報等の収集・発信に係るコンセプト整理及び実現可能性検討業務委託仕様書」（以下「仕様書」という。）を確認の上、この要領により、必要な書類を提出するものとする。

1 企画提案時の提出書類

次の資料について、正本1部、副本7部、電子データ（PDF形式）を提出すること。なお、電子データは電子メールにより提出すること。

- (1) 企画提案書
- (2) 業務委託見積書
- (3) 業務実績説明書

2 作成要領

(1) 一般事項

ア 用紙は、原則A4版両面使用とし、横置き横書き（横綴じ）とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。

イ 表紙（任意様式。ただし、右上に参加資格確認通知の際にあわせて、電子メールにて通知する提案要請記号（アルファベット）を記入すること。）、目次、提案書、業務委託見積書、業務実績説明書を一式とすること。

イ ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部中央に印字すること。

ウ 審査の公正を期すため、企画提案書、業務委託見積書及び業務実績説明書の副本7部には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付してはならない。

なお、業務実施スタッフ体制図などには、プロポーザル参加者名を「当社」と記載すること。

エ 企画提案の内容については、他からの無断転用を禁止とする。

オ 採用された提案の著作権は広島県に帰属する。

(2) 企画提案書【任意様式】

仕様書を参照の上、次の事項について記載した企画提案書を作成すること。

なお、本企画提案は、本業務の実施に先立ち、その進め方や検討の方向性について提案を行うものである。このため、提案内容は、本業務において整理・検討を行うための基本的な考え方や視点、検討の進め方等を示すものとし、各項目について、本県の現状・課題を踏まえた論点や整理の方向性が分かる形で記載すること。

項目	主な記載項目	留意事項
1 基本方針	業務を遂行するうえでの基本的な考え方	○ 本業務の背景・目的を十分に理解した上で、目的に沿った内容が提案されているか。

2 具体的 内容	(1) 県内イベント情報等の収集・発信に係るコンセプト	○ 本業務の背景・目的に沿って、若い世代を対象とした県内イベント情報等の一元的な収集・発信の基本的な考え方(コンセプト)が示される提案となっているか。
	(2) 県内イベント情報等の収集内容や方法 ア 現状・課題の整理	○ 本県の県内イベント情報等の収集・発信における現状及びターゲット層の実態等を踏まえ、ターゲット層が必要な情報に十分にアクセスできていない要因等を整理し、構造的課題として可視化される提案となっているか。
	イ 収集内容	○ 県内イベント情報等には、具体的にどのようなものがあるのかを、具体例を示しながら網羅的に抽出・整理される提案となっているか。 ○ 情報を類型化(分類)し、各類型ごとに、収集対象とする範囲(収集範囲)および収集するコンテンツの内容(掲載項目)を明確化し、どこまでを収集対象とするかが整理される提案となっているか。
	ウ 収集方法	○ コスト、実現難易度、持続可能性及び効果等の観点から、効果的な複数の収集手法を整理し、比較検討できる形で整理される提案となっているか。 ○ 既存媒体や関係機関との連携可能性等も踏まえる提案となっているか。
	(3) 発信方法(情報の見せ方及び届け方)	○ 若い世代が、それぞれの価値観やニーズに応じて分かりやすく情報を入手し、行動(参加体験)につながる効果的な複数の発信手法を整理し、比較検討できる形で整理される提案となっているか。
	(4) 既存サイトとの関係性	○ 既存サイト等との関係性を踏まえ、新たな情報発信サービスの役割及びスタンス(位置づけ)を明確化するとともに、情報・経費の重複・分散を回避しつつ、全体として効率的かつ分かりやすい情報発信の構成が整理される提案となっているか。
	(5) 成果指標(KPI)	○ アウトプット指標(掲載件数、閲覧数、SNS接触数等)及びアウトカム指標(認知度向上、満足度等)を区分して整理するとともに、それぞれの測定方法を明確にする提案となっているか。 ○ 県が掲げる最終指標(長期アウトカム)との関係性を整理し、施策の効果検証につながる指標体系が整理される提案となっているか。
	(6) モデル案(概算費用・ロードマップ含む。)の提示	○ (1)～(5)で整理した内容を基に、コスト、実現難易度、持続可能性及び効果等の観点から比較検討できるよう、設計・開発・運用までのモデル案が3案以上提案される提案となっているか。 ○ 各モデル案の概算費用及び設計・開発から安定運用までのロードマップ(概ね3か年程度)を作成する提案となっているか。
	(7) その他、本業務を円滑かつ効果的に行うための提案	○ 本業務の基本設計の範囲内で、仕様書の4(1)～(6)までに掲げる業務以外で、本業務を円滑かつ効果的に行うための事業者独自の創意工夫による提案が行なわれているか。
(8) 納入成果物のイメージ	○ 納入成果物は、今後の施策を判断するための基礎資料となる提案が期待できるか。 ○ 全体を通じて、本県の現状・課題を踏まえた論点	

		<p>整理や整理手法が示される提案となっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 庁内の議論や意思決定の方向性等を適時に反映するとともに、県が保有するデータ及び知見等を適切に活用する提案が期待できるか。 ○ 生成 AI 等の新技術を用いた収集・発信等の提案に当たっては、著作権や個人情報等の法的・運用上のリスク等に配慮した対応を行なう観点を取り入れられているか。
3 実施スケジュール 及び 実施体制	実施スケジュール及び 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務実績やノウハウを有した運営スタッフを配置し、県と綿密に連携しながら、県の要請や状況の変化等に柔軟かつ迅速に対応して業務を遂行できるスケジュール・実施体制となっているか。

(3) 業務委託見積書【任意様式】

ア 広島県知事宛てとすること。

イ 当業務に係る所要経費をすべて見積もること。また、見積りの根拠となった所要経費の明細を明らかにすること。

ウ 金額は、全体所要経費に含まれる消費税の額が分かるよう記載すること。

エ 本業務の実施に要する経費の内訳（項目、数量、単価、金額等）を明らかにした見積書を提出すること。

(4) 業務実績説明書【別紙の様式】

これまでに国又は地方公共団体と契約し、履行した本業務に類似する主な業務について記載すること。なお、類似する業務は、文化芸術振興業務に限らない。

3 審査方法

提出された企画提案書に基づくプレゼンテーションを受け、「県内イベント情報等の収集・発信に係るコンセプト整理及び実現可能性検討業務評価基準」により評価する。

プレゼンテーションは、原則提出された企画提案書により行うこととし、当日追加資料を配布することは認めない。

県内イベント情報等の収集・発信に係るコンセプト整理及び実現可能性検討業務
公募型プロポーザル提案書評価基準

評価項目（着眼点）	点数	係数	配点
1 基本方針			
○ 本業務の背景・目的を十分に理解した上で、目的に沿った内容が提案されているか。	5	2	10
2 具体的内容			
(1) 県内イベント情報等の収集・発信に係るコンセプト ○ 本業務の背景・目的に沿って、若い世代を対象とした県内イベント情報等の一元的な収集・発信の基本的な考え方（コンセプト）が示される提案となっているか。	5	1	5
(2)ア 県内イベント情報等の収集内容や方法（現状・課題の整理） ○ 本県の県内イベント情報等の収集・発信における現状及びターゲット層の実態等を踏まえ、ターゲット層が必要な情報に十分にアクセスできていない要因等を整理し、構造的課題として可視化される提案となっているか。	5	1	5
(2)イ 県内イベント情報等の収集内容・方法（収集内容） ○ 県内イベント情報等には、具体的にどのようなものがあるのかを、具体例を示しながら網羅的に抽出・整理される提案となっているか。 ○ 情報を類型化（分類）し、各類型ごとに、収集対象とする範囲（収集範囲）および収集するコンテンツの内容（掲載項目）を明確化し、どこまでを収集対象とするかが整理される提案となっているか。	5	2	10
(2)ウ 県内イベント情報等の収集内容・方法（収集方法） ○ コスト、実現難易度、持続可能性及び効果等の観点から、効果的な複数の収集手法を整理し、比較検討できる形で整理される提案となっているか。 ○ 既存媒体や関係機関との連携可能性等も踏まえる提案となっているか。	5	2	10
(3) 発信方法（情報の見せ方及び届け方） ○ 若い世代が、それぞれの価値観やニーズに応じて分かりやすく情報を入手し、行動（参加体験）につながる効果的な複数の発信手法を整理し、比較検討できる形で整理される提案となっているか。	5	2	10
(4) 既存サイトとの関係性 ○ 既存サイト等との関係性を踏まえ、新たな情報発信サービスの役割及びスタンス（位置づけ）を明確化するとともに、情報・経費の重複・分散を回避しつつ、全体として効率的かつ分かりやすい情報発信の構成が整理される提案となっているか。	5	1	5
(5) 成果指標（KPI） ○ アウトプット指標（掲載件数、閲覧数、SNS 接触数等）及びアウトカム指標（認知度向上、満足度等）を区分して整理するとともに、それぞれの測定方法を明確にする提案となっているか。 ○ 県が掲げる最終指標（長期アウトカム）との関係性を整理し、施策の効果検証につながる指標体系が整理される提案となっているか。	5	1	5

<p>(6) モデル案（概算費用・ロードマップ含む。）の提示</p> <p>○ (1)～(5)で整理した内容を基に、コスト、実現難易度、持続可能性及び効果等の観点から比較検討できるよう、設計・開発・運用までのモデル案が3案以上提案される提案となっているか。</p> <p>○ 各モデル案の概算費用及び設計・開発から安定運用までのロードマップ（概ね3か年程度）を作成する提案となっているか。</p>	5	2	10
<p>(7) その他、本業務を円滑かつ効果的に行うための提案</p> <p>○ 本業務の基本設計の範囲内で、仕様書の4(1)～(6)までに掲げる業務以外で、本業務を円滑かつ効果的に行うための事業者独自の創意工夫による提案が行なわれているか。</p>	5	1	5
<p>(8) 納入成果物のイメージ</p> <p>○ 納入成果物は、今後の施策を判断するための基礎資料となる提案が期待できるか。</p> <p>○ 全体を通じて、本県の現状・課題を踏まえた論点整理や整理手法が示される提案となっているか。</p> <p>○ 庁内の議論や意思決定の方向性等を適時に反映するとともに、県が保有するデータ及び知見等を適切に活用する提案が期待できるか。</p> <p>○ 生成AI等の新技術を用いた収集・発信等の提案に当たっては、著作権や個人情報等の法的・運用上のリスク等に配慮した対応を行なう観点が入り入れられているか。</p>	5	2	10
<p>3 実施スケジュール及び実施体制</p>			
<p>○ 業務実績やノウハウを有した運営スタッフを配置し、県と綿密に連携しながら、県の要請や状況の変化等に柔軟かつ迅速に対応して業務を遂行できるスケジュール・実施体制となっているか。</p>	5	1	5
<p>4 実績</p>			
<p>○ 同種業務の経験や知見が豊富であり、本業務を確実かつ効果的に遂行する十分な実績を有しているか。</p>	5	1	5
<p>5 経費内訳</p>			
<p>○ 経費の内容が明確であり、妥当性があるか。</p>	5	1	5
<p>評価点合計</p>			100

※最低基準は次のとおりとする。

選定委員会の委員による評価結果の合計が、満点（100点×委員数）の6割に満たない提案は、選定しない。